

赤神良讓 あかがね りょうじょう 社會學・政治學者、政治學博士。明治二十五年十月（二十）一日新潟縣幸治生れ、昭和二十八年四月六日没（二八九―一九五三）。本名崇弘 たかひろ。大正八年東京帝國大學文學部社會學科卒、十二年同大法學部政治學科卒。十五年歐米遊學。明治大學教授、また東洋大學、華修大學等、いゝ出講。

著書『こ近社會學の進歩』（高島素文・高橋清吾・遠藤隆吉等合著・尼子止編、大正九年九月二十日大日本學術協會）、『キツメとダン入こ自殺の學說』（昭和五年七月十八日春陽堂）、『反對表現の思想』（昭和五年九月十八日大入社）、『近世露西亞政治史』（昭和九年六月二十七日章華社）、『學生と政治』（榑橋渡・佐野學・岩淵辰雄合著、昭和二十二年二月二十日行井書房）、『民主主義的政治家のための雄辯學』（昭和二十二年四月二十五日伊藤新文化出版社）、『環境社會學』（昭和二十二年六月一日行井出版株式會社）、『不良少年少女の問題』（昭和二十五年二月二十五日埼玉・日本政治經濟社會學研究會所「弘耀文庫」）等。

